

# 身延登山鉄道株式会社 安全報告書(2012年)

## 1. 利用者の皆様へ

弊社の索道事業に対し、日頃のご利用とご理解を頂きまして、誠にありがとうございます。

弊社は、経営理念に於いて、安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全の輸送確保の取組みや安全の実態について、自ら振りかえるとともに、広くご理解いただくために公表するものであります。

皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

身延登山鉄道株式会社(身延山ロープウェイ)

代表取締役社長 堀内 光一郎

## 2. 安全方針

### (1)安全方針

弊社の経営理念に於いて、「安全方針」を次のように掲げ、社長以下職員に周知・徹底しております。

当社は平成18年10月に制定した安全管理規程に基づき、以下の安全方針を定めて輸送の安全に取り組んでおります。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施に当り、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### (2)2011年度重点施策

- ・異常時における応急復旧体制の向上
- ・ヒヤリハット情報を活用した事故防止

## 3. 安全輸送のための取組み

### (1)教育・訓練

輸送や皆様の安全に役立つよう、施設及び取扱いについての安全教育を実施しております。また、毎年中部消防署と合同で救助訓練、救急救命講習、消火訓練を実施しております。

### (2)経営層の巡視

役員である安全総責任者・安全統括管理者が定期的に現場を巡視し、現場の実態把握、安全管理状況の確認を行っております。

### (3)2011年度投資

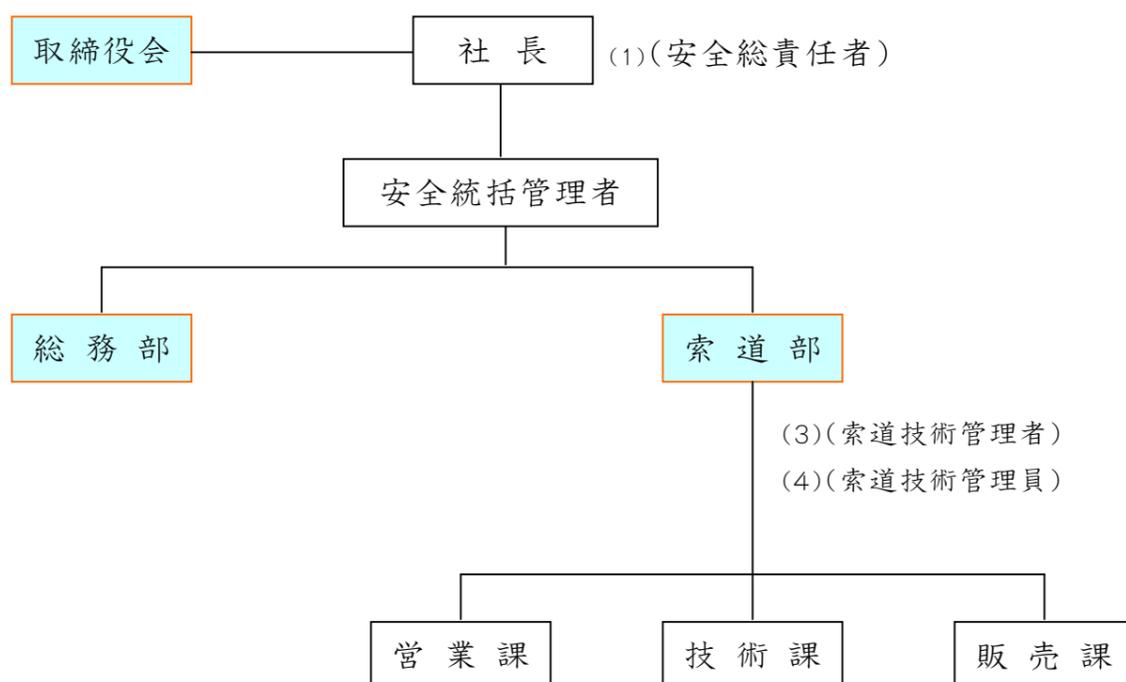
投資額 205百万円

投資の主な内訳

- ・原動制御設備更新工事
- ・山頂山麓駅舎建屋及びホーム修繕工事
- ・運転室改装工事

#### 4. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にした中で、安全確保のため役割を担っております。



- ①安全総責任者:索道事業者として安全責任者、安全統括管理者を指揮監督し、安全確保をはかる。
- ②安全統括管理者:安全総責任者の指揮の下、索道事業の安全確保に関する業務を統括する。
- ③索道技術管理者:安全統括管理者の指揮の下、索道運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括する。
- ④索道技術管理員:索道技術管理者の指揮の下、その業務を補佐し不在時は代行を行う。

#### 5. ご報告

##### (1) 索道運転事故・インシデント

2011年度、運転事故・インシデントの発生はありません。

##### (2) 災害(地震・暴風雨・豪雪など)

2011年7月及び9月の台風接近、通過に伴い、計4日間運休いたしました。台風通過後に施設に異常がない事を確認後、営業運転を再開しました。

##### (3) 整備(原動・制御設備更新)

2012年1月23日から3月2日まで40日間運休し、ロープウェイの安全運行を目的としたモーターや運転盤、制御盤など新規設備の導入工事を実施いたしました。

#### 6. 利用者みなさまへ

安全で信頼される索道をつくるため、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。皆様の期待に応えられるよう、安全への取組み、サービスの提供に努めてまいります。

ご連絡先 〒409-2524 山梨県南巨摩郡身延町身延字上の山 4226-2

身延登山鉄道株式会社 索道部 お客様係

TEL:0556-62-1081 FAX:0556-62-2882

平成24年8月1日

## 保守点検・訓練の様子



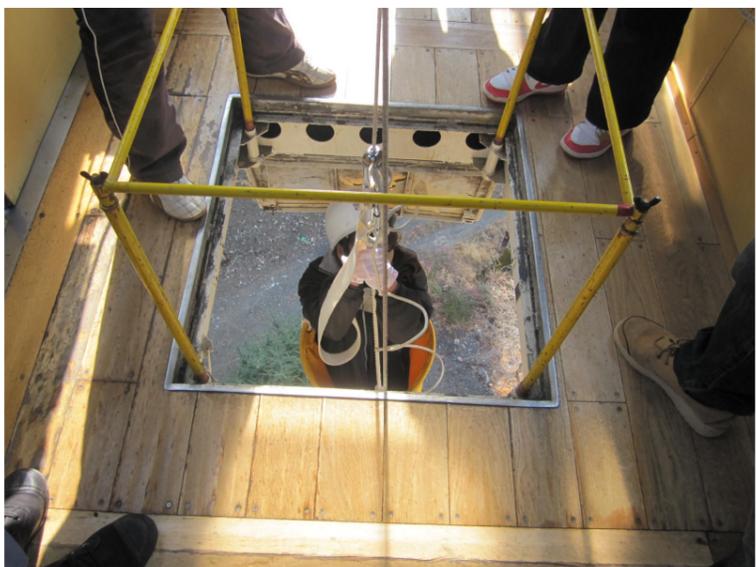
### 原動制御設備更新工事①

永続的なロープウェイ安全運行を目的とし、山頂機械設備のモーター・予備エンジン・滑車など、新規設備の導入工事を実施いたしました。



### 原動制御設備更新工事②

上記の工事に付帯して、山頂運転盤・山麓監視盤・制御装置設備など、新規設備の導入工事を実施いたしました。



### スローダン降下訓練

消防署立会いの下、全従業員によるスローダン降下訓練を実施し、操作方法・役割分担を再確認いたしました。なお、本年度はメーカーによるスローダン救助装置本体の精密点検をおこない、降下用ロープの交換をいたしました。



### 安全教育

運休期間を利用して、全従業員を対象に安全統括管理者をはじめ、各職場長がそれぞれの責務に応じた安全教育を実施いたしました。